



平成29年9月5日  
内閣府（防災担当）

## 平成29年防災功労者内閣総理大臣表彰の受賞者決定について

標記について、別添のとおり受賞者が決定しましたのでお知らせします。  
なお、表彰式の日時等については、別途お知らせいたします。

※ 防災功労者内閣総理大臣表彰は、『「防災の日」及び「防災週間」について』（昭和57年5月11日閣議了解）に基づき、災害時における人命救助や被害の拡大防止等の防災活動の実施、平時における防災思想の普及又は防災体制の整備の面で貢献し、特にその功績が顕著であると認められる団体又は個人を対象として表彰するものです。

### 【本件問合せ先】

内閣府政策統括官（防災担当）付  
参事官（総括担当）付 坂本、岡田、鈴木、篠田  
電話：03-3501-5408（直） FAX：03-3503-5690

## 平成29年防災功労者内閣総理大臣表彰受賞者名簿

### ○ 個人

〔防災体制の整備〕

東京大学地震研究所地震予知研究センター長・教授 平 田 直	(東京都)
岩手大学 名誉教授 齋 藤 徳 美	(岩手県)
国立研究開発法人防災科学技術研究所社会防災システム研究部門長 藤 原 広 行	(茨城県)
愛知医科大学 教授・医師 中 川 隆	(愛知県)
山口大学大学院創成科学研究所 教授 清 水 則 一	(山口県)
徳島大学 名誉教授 村 上 仁 士	(徳島県)
鹿児島大学地域防災教育研究センター特任教授 下 川 悦 郎	(鹿児島県)

### ○ 団体

〔災害現場での顕著な防災活動〕

(平成27年9月関東・東北豪雨における災害対策活動) 緊急災害対策派遣隊	(東京都)
(平成27年9月関東・東北豪雨における消防団の災害出動) 日光市今市消防団	(栃木県)
日光市藤原消防団	(栃木県)
(平成28年熊本地震における災害警備活動) 熊本県警察本部	(熊本県)
(平成28年熊本地震における消防団の災害出動) 熊本市消防団	(熊本県)
八代市消防団	(熊本県)
宇土市消防団	(熊本県)
宇城市消防団	(熊本県)
阿蘇市消防団	(熊本県)
大津町消防団	(熊本県)
南小国町消防団	(熊本県)
小国町消防団	(熊本県)
産山村消防団	(熊本県)
高森町消防団	(熊本県)
西原村消防団	(熊本県)
南阿蘇村消防団	(熊本県)
御船町消防団	(熊本県)
嘉島町消防団	(熊本県)
益城町消防団	(熊本県)
甲佐町消防団	(熊本県)

(平成28年熊本地震における災害派遣)

空災部隊 (東京都)

海災部隊・同支援部隊 (長崎県)

陸災部隊・同支援部隊 (熊本県)

(平成28年台風第7号、台風第11号及び第9号、台風第10号における災害警備活動)

北海道警察本部 (北海道)

(平成28年台風第11号及び第9号における消防団の災害出動)

北見地区消防組合常呂消防団 (北海道)

(平成28年台風第10号における災害警備活動)

岩手県警察本部 (岩手県)

(平成28年台風第10号における消防団の災害出動)

久慈市消防団 (岩手県)

岩泉町消防団 (岩手県)

(平成28年台風第10号における災害派遣)

第5旅団及び第4特科群災害派遣部隊・同支援部隊 (北海道)

第9師団災害派遣部隊及び同協同・支援部隊 (青森県)

(平成28年糸魚川市における大規模火災における消防団の災害出動)

糸魚川市消防団 (新潟県)

(災害発生時の急患輸送、山林火災、台風等への災害派遣)

陸上自衛隊 第15ヘリコプター隊 (沖縄県)

〔防災体制の整備〕

美田自治会(安心まちづくり部) (千葉県)

高木町自治会 (東京都)

太秦学区自主防災会 (京都府)

〔防災思想の普及〕

大和市少年消防団 (神奈川県)

豊橋防災ボランティアコーディネーターの会 (愛知県)

日東東山自主防災会 (愛知県)

以上 7個人、38団体

## 功 績 概 要

個人 [防災体制の整備]

関 係 省 庁	内 閣 府
氏 名	ひらた なおし 平 田 直
住 所	東京都文京区
職 業	東京大学地震研究所 地震予知研究センター長・教授
功 績 の 概 要	<p>同氏は、地震学の第一人者であり、特に、地震観測の分野において優れた成果を残しているほか、防災教育活動や防災行政へ有用な提言を行うなど、その活動は非常に幅広いものである。</p> <p>研究活動においては、大規模かつ集中的な観測によって地殻の不均質構造と微小地震活動の時間的・空間的分布の関係を明らかにする等の取組を行っており、高い学術成果を挙げている。また、「(一社)防災教育普及協会」の会長や「防災教育チャレンジプラン」実行委員を務め、防災教育の普及に積極的に取り組む等、多岐にわたる活動を行っている。</p> <p>防災行政においても、中央防災会議委員、中央防災会議防災対策実行会議「南海トラフ沿いの地震観測・評価に基づく防災対応検討ワーキンググループ」主査、地震調査研究推進本部「地震調査委員会」委員長を務め、数多くの有用な提言を行うなど、地震学の専門家として非常に幅広く活躍しており、防災行政における貢献度は絶大である。</p>

## 功 績 概 要

個人 [防災体制の整備]

関 係 省 庁	内 閣 府
氏 名	さいとう とくみ 齋 藤 徳 美
住 所	岩手県盛岡市
職 業	岩手大学 名誉教授
功 績 の 概 要	<p>同氏は、岩手山の火山活動が活発化した平成10年から、火山防災体制の構築等に取り組むとともに、東日本大震災津波の被災を受け、東日本大震災津波復興委員会総合企画専門委員会委員長として、災害に強い安全な復興まちづくりの推進を図り、沿岸市町村の防災担当や消防団を対象とした防災教育を続けている。</p> <p>また、岩手県に甚大な被害をもたらした平成28年台風第10号災害の教訓等を踏まえた防災体制の整備にあたり、国・県・専門家で組織する「岩手県風水害対策支援チーム」の設置に尽力するなど、本県の防災体制の整備に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

個人 [防災体制の整備]

関 係 省 庁	文 部 科 学 省
氏 名	ふじわら ひろゆき 藤 原 広 行
住 所	茨城県つくば市
職 業	国立研究開発法人防災科学技術研究所社会防災システム研究部門長
功 績 の 概 要	<p>同氏は、全国強震観測網の整備、強震動予測のためのシュミレーション手法の開発、日本全国を対象とした地盤モデルの構築及び地下構造データベースの開発、それら要素技術を統合した地震ハザード評価手法の研究開発を行い、地震への備えを行うために有用な「全国地震動予測地図」の作成・提供に大きく貢献し、災害リスク情報の利活用を進めるための災害リスク情報プラットフォームの研究開発等のプロジェクト研究、さらにリアルタイムでの地震被害想定・状況把握システムの開発において中心的な役割も果たしてきた。</p> <p>これらの研究成果は、国・地方自治体における地震対策において活用されると共に、地震保険の料率算定等でも利用されている。</p> <p>また、平成28年熊本県熊本地方を震源とする地震においても、被害推定情報を各省庁及び自治体に提供し、情報把握などに活用されている。</p> <p>さらに1999年より政府の地震調査研究推進本部の専門委員等を務め、我が国の地震防災対策の強化、特に地震による被害の軽減に資する地震調査研究の推進に貢献していることにより、防災対策の推進に多大な貢献をした。</p>

## 功 績 概 要

個人 [防災体制の整備]

関 係 省 庁	内 閣 府
氏 名	なかがわ たかし 中 川 隆
住 所	愛知県名古屋市
職 業	愛知医師大学教授・医師
功 績 の 概 要	<p>同氏は、名古屋市、尾張東部地区を基盤に愛知県全域に及ぶ救急・災害医療体制の確立に向け、愛知県救急業務高度化推進協議会では、委員並びに副会長の要職を務め、愛知県全域のメディカルコントロール体制構築に尽力し、さらに愛知県救急搬送対策協議会委員として、県内の救急搬送における搬送基準策定に関わるなど継続的に活動してきた。</p> <p>平成7年1月の阪神・淡路大震災における医療支援活動や、平成23年3月の東日本大震災でも統括DMATとして発災翌日からドクターヘリで花巻空港へ出向き、全国より参集した多数のドクターヘリ運用の陣頭指揮をし、円滑な航空機搬送による医療救護活動を実現した。</p> <p>さらに、平成28年4月の熊本地震においても、本震直後に愛知県災害医療コーディネーターとして愛知県知事の要請に基づき愛知県庁へ参集し、愛知県を中心とした東海地区からのDMAT被災地派遣の指揮を執った後、速やかに熊本へ出向き、DMAT活動拠点本部長として、全国から参集したDMATを統括して被災地内医療支援活動を行った。</p> <p>また、大規模災害の他、平成22年11月に横浜市で開催された2010年日本APECや平成28年5月のG7伊勢志摩サミットにおいても、医療対策本部で活動するなど、国内で開催された国際的な重要会議等における災害医療体制にも従事している。</p> <p>このように国内の大規模震災における医療支援活動をはじめ、災害医療体制の確立など、災害医療領域における防災体制の整備への貢献は誠に顕著であり、災害現場における貢献度も絶大である。</p>

## 功 績 概 要

個人 [防災体制の整備]

関 係 省 庁	文 部 科 学 省
氏 名	しみず のりかず 清水 則一
住 所	山口県宇部市
職 業	山口大学大学院創成科学研究科・教授
功 績 の 概 要	<p>同氏は、災害の予測、防止、安全確認に不可欠な斜面、土砂災害、地震の防災にかかわる監視技術の高度化と普及のため、宇宙技術を活用したモニタリングシステムを開発し、地滑り、ダム、港湾、高速道路、鉄道、鉱山など全国300か所において利用されており、このような先導的な取り組みが防災体制の整備に多大な貢献をした。</p> <p>また、国際関係でも宇宙技術による監視方法の国際学会推奨法を制定し、先進的な防災安全監視に関する研究を行うとともに、国際学会の副総裁として、この分野の研究をリードし、防災技術の国際的普及や体制の整備に多大な貢献をした。</p>



## 功 績 概 要

個人 [防災体制の整備]

関 係 省 庁	内 閣 府
氏 名	むらかみ ひとし 村上 仁士
住 所	徳島県徳島市
職 業	徳島大学 名誉教授
功 績 の 概 要	<p>同氏は、徳島大学にて教鞭をとりながら40年にわたり、四国における過去の地震・津波の実態調査や、四国沿岸域における津波予測・防災対策等について研究を重ね、専門的な立場から行政や自主防災活動に対し、有用な提言・助言を行ってきた。</p> <p>また、「とくしま地震防災県民会議」会長として、県民が総ぐるみで地震防災対策に取り組むための行動指針として県が制定した、「とくしま地震防災県民憲章」の策定に尽力したほか、徳島県が設置した「地震津波減災対策検討委員会」において、大津波を伴う巨大地震への366に及ぶ対策を取りまとめ、南海トラフ巨大地震等における徳島県の地震・津波対策である「『とくしま-0作戦』地震対策行動計画」の策定に大きく貢献するなど、防災体制の整備に多大な貢献をした。</p>

## 功 績 概 要

個人 [防災体制の整備]

関 係 省 庁	国 土 交 通 省
氏 名	しもかわ えつろう 下 川 悦 郎
住 所	鹿児島県日置市
職 業	鹿児島大学地域防災教育研究センター特任教授
功 績 の 概 要	<p>同氏は、砂防学における第一人者として、幅広い知見を踏まえて砂防行政へ有用な提言を行うなど防災の分野で多大な貢献をした。</p> <p>研究活動においては、桜島や雲仙岳等において火山噴火時の降灰や火砕流堆積後の侵食・土石流の発生メカニズムを解明するなど、学術的に極めて高い成果を挙げている。また、砂防学会長などの要職を歴任するなど、同氏の功績は極めて大きい。</p> <p>防災行政においては、阿蘇山、雲仙岳等の火山砂防計画の検討委員会の委員長や霧島火山防災連絡会コアメンバー会議の委員等を務め、九州各地の火山砂防対策等について、長年にわたり国や県等の関係機関へ有用な提言を行ってきた。また、鹿児島県土砂災害対策アドバイザーを務め、土砂災害の発生直後に現地調査を行い、警戒避難基準や対策工法等について関係機関に対し高度な技術的提言を行い、被災地の早期復旧に尽力されるなど、防災対策の推進に多大な貢献をした。</p>

## 功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	国 土 交 通 省
名 称	緊急災害対策派遣隊
所 在 地	東京都千代田区
代 表 者	関東地方整備局 うちぼり すみお 下館河川事務所 副 所 長 内 堀 寿 美 男
功 績 の 概 要	<p>同派遣隊は、平成27年9月に発生した関東・東北豪雨に際し、発災当日から4ヶ月以上にわたり活動し、全国から述べ2,563名が出動し、排水ポンプ車による24時間体制の緊急排水活動、自衛隊等による捜索活動を支援するため道路啓開や放置車両の撤去、土砂災害に対する被災状況調査、堆積した土砂により排水機能が失われた排水路等の土砂撤去などの市町村支援を実施することにより、被災地の早期復旧に向けて多大なる貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	国 土 交 通 省
名 称	日光市今市消防団
所 在 地	栃木県日光市
代 表 者	ぬまお こういち 団 長 沼 尾 幸 一
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成27年9月に発生した関東・東北豪雨に際し、3日間延べ702名が出動し、真夜中の豪雨という極めて危険な状況下で、水防活動とともに、住民の避難誘導、人命救助活動を優先的に行い、被害を最小限に抑え、平素の水防意識の高揚と相まって、人命の安全確保と被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	国 土 交 通 省
名 称	日光市藤原消防団
所 在 地	栃木県日光市
代 表 者	つるみ よしみち 団 長 鶴 見 好 道
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成27年9月に発生した関東・東北豪雨に際し、2日間延べ185名が出動し、降り続く豪雨、溢れ出る山からの水、冠水した道路等極めて困難な状況下で昼夜にわたり水防活動、住民の避難誘導、人命救助活動、交通整理を行い、人命の安全確保と被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

## 功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	警 察 庁
名 称	熊本県警察本部
所 在 地	熊本県熊本市
代 表 者	むらた たつや 本部長 村田 達哉
功 績 の 概 要	<p>同警察本部は、平成28年4月の熊本県熊本地方を震源とする地震発生に伴い、直ちに「災害警備本部」を設置し、迅速・的確な体制を確立するとともに、他機関に先駆け、警察用航空機による被害映像の送信や機動隊等の迅速な派遣による救出救助、住民の避難誘導等を実施し、その後、余震、大雨により二次災害の危険性が極めて高い困難な状況下、広域緊急援助隊や緊急災害警備隊等の支援も得て、救出救助、捜索活動等の警察活動を完遂した。また、熊本県での災害警備活動状況や犯罪情報等を積極広報し、社会不安の解消や警察活動への理解を深めることに寄与し、消防、自衛隊等の関係機関と効果的に連携し、適切な災害警備活動を推進し、国民の安全確保と安心感の醸成に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	熊本市消防団
所 在 地	熊本県熊本市
代 表 者	やまぐち じゅんいち 団 長 山 口 純 一
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成28年4月熊本県熊本地方を震源とする地震に際し、4月14日より5月31日の間で述べ23,374名が出動し、被害発生直後から消火活動や救助活動を実施し、地域住民の安否確認、避難誘導、避難所の支援、支援物資搬送、瓦礫・土砂の撤去、危険排除、広報活動、不審者への警戒活動など、被害の軽減及び2次災害防止の活動をおこなうなど、地域住民の生命・身体及び財産の保護に多大な貢献をした。</p>

## 功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	八代市消防団
所 在 地	熊本県八代市
代 表 者	やまもと かずき 団 長 山 本 一 樹
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成28年4月熊本県熊本地方を震源とする地震に際し、29日間にわたり延べ4,393人が出動し、消火活動、住民の安否確認、避難誘導、交通誘導、情報収集・連絡調整、危険区域の巡視・警戒活動、地域巡回、戸別訪問、避難所運営支援及びがれき撤去等を実施した。断続的に余震が発生する中での活動は、身体的負担はもとより、精神的な負担も非常に大きいものとなったが、行政当局、消防本部・警察署などの関係機関、自主防災組織をはじめとする地域住民組織とも連携・協力し、発災当初の被害状況の把握、その後の被害の軽減及び市民生活の復旧に対して多大なる貢献をした。</p> <p>また、地震の影響が継続する中での活動は精神的な負担が極めて大きいものであったが、平成28年度中の大雨や台風などの自然災害についても延べ930人が出動し、消防団員として災害防ぎょ活動等を実施し、地域住民の生命・身体及び財産の保護に多大な貢献をした。</p>



功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	宇土市消防団
所 在 地	熊本県宇土市
代 表 者	やまもと あきひろ 団 長 山 本 章 博
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成28年4月熊本県熊本地方を震源とする地震に際し、16日間にわたり延べ1,046名を動員し、市民の避難誘導、避難所支援、危険個所の調査等を行い、地域のために危険と背中合わせにも関わらず、消防団活動を行った。</p> <p>また、大規模な災害の後に、避難所に避難した留守宅を狙った空き巣が発生する恐れがあったため、市内の夜間警戒を実施した。この活動が功を奏し、熊本地震後における市内の空き巣被害の発生は無く、地域住民の生命・身体及び財産の保護に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	宇城市消防団
所 在 地	熊本県宇城市
代 表 者	お ざ き よ う じ 団 長 尾 崎 洋 治
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成28年4月熊本県熊本地方を震源とする地震に際し、17日間にわたり延べ9,407名を動員し、市民の避難誘導、避難所支援、危険個所の調査等を行い、地域のために危険と背中合わせにも関わらず、消防団活動を行った。</p> <p>また、大規模な災害の後に、避難所に避難した留守宅を狙った空き巣が発生する恐れがあったため、市内の夜間警戒し、この活動が功を奏し、熊本地震後における市内の空き巣被害の発生は無く、地域住民の生命・身体及び財産の保護に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	阿蘇市消防団
所 在 地	熊本県阿蘇市
代 表 者	うめの たかのり 団 長 梅 野 孝 徳
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成28年4月熊本県熊本地方を震源とする地震に際し、31日間にわたり延べ5,862名が出動し、震度6弱の本震及び震度5強を伴う余震が長時間続くという極めて困難な状況の下、昼夜にわたり住民の救助活動、避難誘導活動、巡回・警戒活動、災害処理活動等を行うとともに、住家の下敷きとなった多数の住民（7名以上）を救助した。危険な状況の中、一人として人的被害を出さず、平素の防災意識の高揚活動と相まって、被害の軽減に貢献し、地域住民の生命・身体及び財産の保護に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	大津町消防団
所 在 地	熊本県菊池郡大津町
代 表 者	はなおか みちはる 団 長 花 岡 道 治
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成28年4月熊本県熊本地方を震源とする地震に際し、24日間にわたり延べ3,832名が出動し、人的・建物・ライフライン被害が多発した極めて困難な状況下、倒壊家屋からの救助活動を行い、一人として人的被害（直接死）を出さなかった。</p> <p>また、住民の避難誘導・安否確認活動に従事するとともに、救援物資の搬入補助、炊き出し等生活の支援活動や避難勧告・指示が出された地区の警戒巡回活動、土砂崩壊の危険箇所のブルーシート張り等の活動を行い被害軽減に貢献し、地域住民の生命・身体及び財産の保護に多大な貢献をした。</p>

## 功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	南小国町消防団
所 在 地	熊本県阿蘇郡南小国町
代 表 者	さとう とおる 団 長 佐 藤 亨
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成28年4月熊本県熊本地方を震源とする地震に際し、13日間にわたり延べ877人が出動した。地域内の巡回による被害状況の確認や地域住民の安否確認、避難誘導や支援物資の配送、給水活動、避難所及び地区内の警戒・警備活動、交通整理等に昼夜にわたって従事し、住民の安全確保及び被害の軽減に貢献し、地域住民の生命・身体及び財産の保護に多大な貢献をした。</p>

## 功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	小国町消防団
所 在 地	熊本県阿蘇郡小国町
代 表 者	まつの ひでかず 団 長 松 野 英 一
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成28年4月熊本県熊本地方を震源とする地震に際し、7日間にわたり延べ1,690名が出動した。避難所巡回、交通誘導活動、管内における被害状況の把握、避難所への支援物資配送、巡回警戒活動等を実施し、被害の軽減に貢献し、地域住民の生命・身体及び財産の保護に多大な貢献をした。</p>

## 功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	産山村消防団
所 在 地	熊本県阿蘇郡産山村
代 表 者	すずき けんし 団 長 鈴 木 健 士
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成28年4月熊本県熊本地方を震源とする地震に際し、4月16日より同月25日の間で述べ190名が出動し、地域住民の安否確認、避難誘導や避難支援、災害対策本部への情報提供等、地域のために危険と背中合わせにも関わらず、救助活動を実施した。</p> <p>住民全員の安全を確認後、屋根等が破損した家屋保護を実施し地域住民の住居を確保した。</p> <p>また、消防団員により、家屋に流入した土砂等の撤去、飲料水等確保及び夜間の特別警戒活動に取り組むなど、地域住民の生命・身体及び財産の保護に多大な貢献をした。</p>

## 功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	高森町消防団
所 在 地	熊本県阿蘇郡高森町
代 表 者	わたなべ ひろみ 団 長 渡 邊 博 実
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成28年4月熊本県熊本地方を震源とする地震に際し、4月14日より15日間で述べ756名が出動した。災害対策本部との連携を図り、昼夜を問わず地域住民の避難誘導や避難支援及び巡回や警戒活動を実施し、地域の安全安心のため支援活動を実施した。</p> <p>地震による住家等の被害は少なかったものの、ライフラインの断絶等による二次被害等の被害拡大の抑制に貢献し、地域住民の生命・身体及び財産の保護に多大な貢献をした。</p>



功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	西原村消防団
所 在 地	熊本県阿蘇郡西原村
代 表 者	ば ば ひ だ あ き 団 長 馬 場 秀 昭
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成28年4月熊本県熊本地方を震源とする地震に際し、4月14日より5月21日の間で述べ4,444名が出動し、被害直後から住民の避難誘導や安否確認、被害状況の確認を行い、災害対策本部へ情報提供を行った。</p> <p>また、4月16日1時25分に発生した本震では、村内においても、家屋の倒壊、道路・橋梁の崩壊など、甚大な被害となり、余震が続く中、自らの危険も顧みず家屋の下敷きになった住民の救助活動を実施し、多くの人命を救助したのをはじめ、迅速に避難誘導、被害状況の情報収集を行い、災害対策本部に対する的確に情報を提供するなど、被害を最小限にとどめるために多大なる貢献をした。</p> <p>その後、避難所運営や集落の復旧作業、巡視活動など、団員は自らも被災者であるにも拘らず、住民の安全・安心のために長期に亘り活動を続け、地域住民の生命・身体及び財産の保護に多大な貢献をした。</p>

## 功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	南阿蘇村消防団
所 在 地	熊本県阿蘇郡南阿蘇村
代 表 者	な か お ひ ろ あ き 団 長 中 尾 博 昭
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成28年4月熊本県熊本地方を震源とする地震に際し、4月16日より7月5日の間で述べ4,540名が出動し、救助活動や避難誘導、避難所後方支援、防犯パトロールをはじめ、地震後の大雨時には避難呼びかけに尽力し二次災害を防止した。</p> <p>また、大雨による土砂災害で長期にわたり立野地区が孤立した際には、住民の一時帰宅実施時に、誘導や土砂災害箇所の監視や危険箇所の警備などを行うなどの支援を行うなど、住民の生命を第一に考え、住民に寄り添った活動を実施し、地域住民の生命・身体及び財産の保護に多大な貢献をした。</p>

## 功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	御船町消防団
所 在 地	熊本県上益城郡御船町
代 表 者	うちむら みつひろ 団 長 内 村 光 宏
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成28年4月熊本県熊本地方を震源とする地震に際し、4月14日より22日間で述べ2,374名が出動した。地震後から地域住民の安否確認や避難広報および誘導、避難支援、避難所での焚き出し、災害対策本部への情報提供などを実施し、自ら被災しているのにも関わらず、地域住民のため昼夜にわたり活動し、4月16日の本震後には、倒壊した家屋から1人を救出するなど、地域住民の生命・身体及び財産の保護に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	嘉島町消防団
所 在 地	熊本県上益城郡嘉島町
代 表 者	さとう みつまさ 団 長 佐 藤 光 正
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成28年4月熊本県熊本地方を震源とする地震に際し、4月14日より22日間にわたり延べ2,197名が出動した。団員自らも被災するという状況の下、人命救助、行方不明者の捜索、住民の安否確認、避難誘導、地域巡回、救援物資搬送など昼夜を問わず活動し、被害の軽減や地域の治安維持のために多大な貢献をした。</p> <p>また、危険な現場もあるなかで大きな怪我をした団員は1人もいなく、地域住民の生命・身体及び財産の保護に多大な貢献をした。</p>

## 功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	益城町消防団
所 在 地	熊本県上益城郡益城町
代 表 者	ま え だ と し は る 団 長 前 田 俊 春
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成28年4月熊本県熊本地方を震源とする地震に際し、4月14日より7月6日の間で述べ5,746名が出動し、被害発生直後から自らの命の危険を顧みず果敢に多くの救助活動を実施し、被害発生直後も地域住民の安否確認、避難誘導、避難所の支援、道路通行止めによる交通整理や瓦礫・土砂の撤去、ガスの元栓締めや電気ブレーカー遮断などの広報活動、災害対策本部への情報提供など、被害の軽減及び2次災害の防止に多大な貢献をした。</p> <p>また、町庁舎被災により防災行政無線が使用できなくなったことから、避難指示や勧告、瓦礫搬入中止や再開等の行政情報の広報活動、さらには不審者への警戒活動など、多岐にわたり活動し、地域住民の生命・身体及び財産の保護に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	甲佐町消防団
所 在 地	熊本県上益城郡甲佐町
代 表 者	まつお のりちか 団 長 松 尾 憲 親
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成28年4月熊本県熊本地方を震源とする地震に際し、4月14日より5月31日の間で述べ4,615名が出動し、被害状況の把握や被災者の避難誘導、避難所の運営支援(支援物資の運搬・配布や炊き出し等)に精力的にあたり、災害対策本部と連絡を密にし、インフラが復旧されるまでの約2週間、がれきの撤去や交通誘導などを行い、いち早い復旧に努めた。発災後は、5月末まで日中・深夜問わず警戒巡視に努め、地震に伴う窃盗等の犯罪認知は現在まで報告されていない。</p> <p>また、復旧・復興にむけ前進するなかで、6月20日～21日未明にかけて梅雨前線に伴う豪雨災害が発生した。本町では1時間当たり150ミリを記録(全国観測地点で歴代4位)し、地震により地盤が緩んだ状態で起こった豪雨災害によって、河川の氾濫や浸水被害・道路の寸断が相次ぎ、斜面崩壊により孤立する集落もあったが、団員の懸命な避難誘導等や、その後の道路や民家に堆積した土砂の撤去では多くの団員がその職務を遂行した。</p> <p>いずれの災害に際しても、団員は被災者となるなかで、消防の崇高な精神のもと奉仕した活動功績はたいへん大きく、地域住民の生命・身体及び財産の保護に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	防 衛 省
名 称	空災部隊
所 在 地	東京都福生市
代 表 者	まえはら ひろあき 航空総隊官 前原 弘昭
功 績 の 概 要	<p>同部隊は、平成28年4月熊本県熊本地方を震源とする地震に際し、4月14日より5月9日の間で、派遣人員述べ32,023名、車両述べ約5,000両、航空機延べ約150機をもって、人命救助及び山間部における孤立者の捜索救助を実施するとともに生活支援及び被害復旧など各種支援活動を長期にわたり実施するなどし、被災地住民の安全を確保するとともに生活基盤を確保して民生の安定に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [防災現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	防 衛 省
名 称	海災部隊・同支援部隊
所 在 地	長崎県佐世保市
代 表 者	<p style="text-align: center;">さとう まこと</p> <p>佐世保地方 総監海将 佐 藤 誠</p>
功 績 の 概 要	<p>同部隊は、平成28年4月熊本県熊本地方を震源とする地震に際し、4月15日より5月9日の間で、派遣人員述べ10,173名、車両延べ900両、航空機延べ197機、艦船延べ300隻をもって、人命救助、物資輸送、生活支援等するなどし、被災地住民の安全を確保するとともに生活基盤を確保して民生の安定に多大な貢献をした。</p>



功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	防 衛 省
名 称	陸災部隊・同支援部隊
所 在 地	熊本県熊本市
代 表 者	ゆあさ ごろう 西部方面 総監陸将 湯 浅 悟 郎
功 績 の 概 要	<p>同部隊は、平成28年4月熊本県熊本地方を震源とする地震に際し、4月14日より5月30日の間で、派遣人員述べ773,602名、車両述べ約89,400両、航空機延べ約2,750機をもって、人命救助、行方不明者の捜索、物資輸送、生活支援等を実施するなどし、被災地住民の安全を確保するとともに生活基盤を確保して民生の安定に多大な貢献をした。</p>

## 功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	警 察 庁
名 称	北海道警察本部
所 在 地	北海道札幌市
代 表 者	きたむら ひろふみ 本 部 長 北 村 博 文
功 績 の 概 要	<p>同警察本部は、平成28年8月に2週間で平成28年台風7号、第11号、第9号及び第10号が襲来し、過去前例のない4つの台風となる異常気象下において、広域な管内で発生する災害に的確な部隊運用により人的被害の拡大を最小限で防止した。</p> <p>また、災害に対応し体制を強化し、災害警備対策室を設置し、被害情報の収集、被災住民の避難誘導、救出救助活動等に当たるなど、迅速に的確な体制を構築し、自治体、消防、自衛隊等と活動調整会議を随時開催し、連携した活動を実施するなど、適切な災害警備活動を実施し、国民の安全確保と安心感の醸成に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	国 土 交 通 省
名 称	北見地区消防組合常呂消防団
所 在 地	北海道北見市
代 表 者	たぶち まさあき 団 長 田 渕 正 彰
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成28年8月北海道を連続して襲った平成28年台風第11号及び第9号の豪雨災害に際し、台風上陸前日より8日間で述べ129名が出動し、避難勧告、避難指示に伴う広報活動、警戒巡視及び住民の避難誘導を行うとともに、堤防決壊により水没した車両から乗員を救出するなど、人命の安全確保と被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	警 察 庁
名 称	岩手県警察本部
所 在 地	岩手県盛岡市
代 表 者	ともい まさひろ 本部長 友井 昌宏
功 績 の 概 要	<p>同警察本部は、平成28年8月に四国の南海上で発生し、統計開始以降初めて、東北地方太平洋側（岩手県大船渡市付近）に上陸した平成28年台風第10号の影響で、宮古市、久慈市、岩泉町などで局地的に猛烈な雨量となり、河川が一気に増水氾濫し、河川流域の家屋が流されるという厳しい環境下で二次災害の危険性も増す中で、警察無線の不感も加わり、極めて困難な中での的確な救助活動により要救助者を救出し、被害拡大を防止した。</p> <p>また、災害警備本部を設置し、体制を整え、被害情報の収集、被災住民の避難誘導、救出救助活動等に当たったほか、警察災害派遣隊の派遣を要請するなど迅速的確に体制を構築し、自治体に所轄幹部を派遣し、連携を密にし、被災地域全戸に対する安否確認ローラー活動を実施するなど、住民の安全確保を優先に関係機関との連携を図りながら、被害の拡大防止を行うなど、長期間にわたり間隙のない適切な災害警備活動を実施し、国民の安全確保と安心感の醸成に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [防災現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	国 土 交 通 省
名 称	久慈市消防団
所 在 地	岩手県久慈市
代 表 者	ひろさき こういち 団 長 廣 崎 康 一
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成28年8月岩手県を襲った平成28年台風第10号の影響による集中豪雨に際し、台風上陸前日より8日間で述べ1,442名が出動し、河川の増水の影響からの越水や土砂崩れ、道路の決壊及び家屋の床上浸水等が発生している極めて危険な状況下の中、昼夜を問わず市民の避難誘導や人命救助、河川水門閉鎖、排水作業などを行い、人命の安全確保と被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	岩泉町消防団
所 在 地	岩手県下閉伊郡岩泉町
代 表 者	やえがし よしはる 団 長 八 重 檉 芳 令
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成28年8月台風第10号による集中豪雨に際し、8月30日より12日間述べ2,311名の団員が出動し、発災前から町内全域の警戒活動、水防活動、避難誘導活動を行い発災後は救助活動、安否確認活動など行い、人命の安全確保と被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	防 衛 省
名 称	第5旅団及び第4特科群災害派遣部隊・同支援部隊
所 在 地	北海道帯広市
代 表 者	ほりい たいぞう 第5旅団長 陸 将 補 堀 井 泰 蔵
功 績 の 概 要	<p>同部隊は、平成28年8月台風第10号の影響による集中豪雨に際し、19日間にわたり、述べ1,705名が出動し、158名の孤立者救助及び給水支援や6カ所の道路啓開、物資輸送等の生活支援等など成果を挙げ、被災地住民の安全確保と生活基盤の確保に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	防 衛 省
名 称	第9師団災害派遣部隊及び同協同・支援部隊
所 在 地	青森県青森市
代 表 者	のうどみ みつる 第9師団長 納 富 中 陸 将
功 績 の 概 要	同部隊は、平成28年8月平成28年台風第10号の影響による集中豪雨に際し、18日間にわたり、述べ2,090名が出動し、265名の孤立者救助・行方不明者捜索、54名の患者輸送、約30キロにわたる道路啓開、物資輸送等の生活支援など成果を挙げ、被災地住民の安全確保と生活基盤の確保に多大な貢献をした。



功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	糸魚川市消防団
所 在 地	新潟県糸魚川市
代 表 者	さいとう なおふみ 団 長 斉 藤 直 文
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成28年12月に発生した糸魚川市駅北大火に際し、消防団全分団が22日より10日間述べ1,493名が出動し、強風下延焼拡大するという極めて困難な状況において、昼夜を問わず消火活動を行うとともに、再燃警戒や長時間に渡る夜間照明活動を行うなど、被害の軽減に多大な貢献をした。</p>

## 功 績 概 要

団体 [災害現場での顕著な防災活動]

関 係 省 庁	防 衛 省
名 称	陸上自衛隊第15ヘリコプター隊
所 在 地	沖縄県那覇市
代 表 者	こが もとのり 第15ヘリコプター隊 1等陸佐 古賀幹徳
功 績 の 概 要	<p>同隊は、臨時第101飛行隊として昭和47年3月創隊、昭和47年11月沖縄移駐以来、長年にわたり沖縄・鹿児島県下の広域に分散する離島において発生する行方不明者捜索、山林火災、台風に伴う人員等輸送に対応するとともに、これまでに9,122回、9,478名に及ぶ緊急患者空輸を実施し、昼夜を問わぬ空輸態勢を保持し、旺盛な責任感をもって任務を遂行し、民生の安定に多大に貢献した。</p>

## 功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

関 係 省 庁	内 閣 府
名 称	美田自治会 (安心まちづくり部)
所 在 地	千葉県流山市
代 表 者	もとかわ ただひさ 会 長 元 川 忠 久
功 績 の 概 要	<p>同自治会は、平成8年4月1日に自主防災組織（安心まちづくり部）を設立し、自主防災組織の中でも他に先駆けた先進的な取組を実践してきた。</p> <p>自主防災組織設立当初から毎年春と秋に地域の防災訓練を継続的に実施していることや、平成16年度からは集合型防災訓練から流山市初の発災対応型防災訓練を取り入れたほか、防災体験研修を行うなど、常に地域住民の防災意識の高揚と知識の向上を図ってきた。また、地域の特性を踏まえた防災対策マニュアルを作成し、全会員に配布するとともに、随時見直しや改善を行っている。</p> <p>近年は、避難所運営マニュアルを活用し、避難所開設・運営訓練を実施するとともに、行政との通信訓練や地域の要配慮者を支援する訓練、エコノミークラス症候群予防対策等を取り入れるなど、過去の大規模な災害事例を踏まえた地域コミュニティの課題にいち早く対処し、より実効性のある地域の防災訓練を実施している。</p> <p>さらには、消防団をはじめとする様々な地域活動団体との連携や、市域を越えた近隣自治会と合同防災訓練を実施することで、広域的な地域住民のすべての力を集結した防災活動を行っており、県内外から多数の自治会等が同自治会の活動について視察に訪れるなど、他の自主防災組織の模範として地域防災力の向上及び防災体制の整備に多大な貢献をしている。</p>

功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

関 係 省 庁	消 防 庁
名 称	高木町自治会
所 在 地	東京都国分寺市
代 表 者	<small>さくらい かんぞう</small> 会 長 櫻 井 幹 三
功 績 の 概 要	<p>同自治会は、昭和59年3月におそらく全国初となる地区防災計画を策定後、平成8年11月には「ふるさとづくり大賞（内閣総理大臣表彰）」を受賞した。その後も、継続的に活動を行い、平成27年度に内閣府の地区防災計画モデル地区に選定され、平成28年2月に前述の地区防災計画の見直しを完了した。引き続き計画の実行に向けた検討（災害時行動プロジェクト）を行うなど、35年以上もの長期に渡り今日まで活動を継続している。</p> <p>現在、全国的にも注目されており、視察や取材、講師依頼を積極的に引き受け、水害被害にあわれた茨城県常総市での講演会の講師を務めるなど活動を行っている。以上のように減災に向け地区防災計画を中心とした防災まちづくり活動の重要性が全国に広がっていくよう努めていることは、防災体制の整備に多大な貢献をした。</p>

## 功 績 概 要

団体 [防災体制の整備]

関 係 省 庁	内 閣 府
名 称	太秦学区自主防災会
所 在 地	京都府京都市
代 表 者	かわすじ のりちか 会 長 川 筋 徳 親
功 績 の 概 要	<p>同自主防災会は、地域内の事業所と連携し、大規模災害発生時における地域事業所との連携協定を行い、大規模災害発生時における相互支援協力体制を構築している。</p> <p>本協定において、大規模災害発生時、消火及び人命の救出救護活動の支援や事業所保有の救出救護器材の提供、事業所施設内の一時避難場所や生活用水の提供など、地域と事業所の相互応援体制を構築しており、所轄消防署と連携して定期的に行われる訓練を通じて連携を図るとともに、協力体制の強化に努めている。</p> <p>また、地域ぐるみの災害対応力の向上を目出した活動として、地域の皆さん自らが、自分たちのまちの防災について考え、話し合い、その内容を行動計画としてまとめた町内版の防災計画づくりに地域をあげて積極的に取り組み、全ての自主防災部（53部）で地域特性を生かした独自の防災行動計画を策定しており、平成27年度からは、自主防災会の災害への対応力向上を図るために、災害ごとの「防災行動マニュアル」の策定について地域住民が主体となって取り組み、これらに基づく訓練、検証、見直しを行なう等顕著な実績が認められる。</p> <p>さらに、防災訓練を通じて児童生徒の防災への関心を高め、将来の災害に強いひとづくりなど、防災体制の整備に多大な貢献をした。</p>

## 功 績 概 要

団体 [防災思想の普及]

関 係 省 庁	内 閣 府
名 称	大和市少年消防団
所 在 地	神奈川県大和市
代 表 者	<small>やまざき      じゅんいち</small> 会 長 山 崎      潤 一
功 績 の 概 要	<p>同消防団は、平成5年に設立され市内で行われる様々なイベントに参加し、火災予防広報に取り組んできた。</p> <p>従来の訓練では、規律訓練、消火訓練や宿泊研修など行ってきたが、近年の災害事情を捉え、防災マップの作成、避難所体験訓練、ジュニア防災検定の受験、赤十字救急法競技会への参加など訓練の内容も時代に即したものを取り入れ、防火・防災について知識や技術の向上に努めている。</p> <p>このような、活発な活動は市内でも広く周知され、設立当初40名前後であった団員数がこの4か年では100名を大きく上回り、平成29年度からは、地域社会で活動できる人材の育成を更に強化するため「小学4～6年生」だった入団対象を「小学4年生～中学3年生」に拡大し、団員数165名で活動を行っている。</p> <p>同団は、長きにわたり市民に密着した火災予防広報や防災の普及啓発に取り組んでおり、その活動は地域防災力の向上に寄与している。これらの功績はまことに顕著であり、防災思想の普及に多大な貢献をした。</p>

## 功 績 概 要

団体 [防災思想の普及]

関 係 省 庁	内 閣 府
名 称	豊橋防災ボランティアコーディネーターの会
所 在 地	愛知県豊橋市
代 表 者	しらい としお 代 表 白 井 稔 男
功 績 の 概 要	<p>同会は、平成14年の設立当初より、豊橋市で行われている災害ボランティアコーディネーター養成講座をサポートし、数多くのボランティアコーディネーターの輩出に貢献している。</p> <p>また、南海トラフ地震など大規模災害に備えて支援本部の運営、災害ボランティアの各種研修を重ねるなど、レベルアップを図っており、市内小中学校の総合防災訓練や地元自治会と連携した「安全なまちづくり」の推進等に尽力している。</p> <p>さらに、啓発部門では豊橋市のみならず愛知県内各地から活動要請を受け、災害ボランティアの啓発に努め豊橋市のみならず愛知県内で多大な貢献し、防災思想の普及に多大な貢献をした。</p>

功 績 概 要

団体 [防災思想の普及]

関 係 省 庁	内 閣 府
名 称	日東東山自主防災会
所 在 地	愛知県日進市
代 表 者	いしかわ ふみひこ 会 長 石 川 文 彦
功 績 の 概 要	<p>津波被害の想定がない地域としての特性を捉え、「まずは地震の揺れから自らの命を守ること」を最重要事項として、地域でできる取り組みとして、各戸を訪問するローラー作戦の展開により、お互いに顔を合わせる関係の構築と併せて「地震災害による死傷者0」を目指した予防啓発活動を重点的に取り組むこととした。また、災害発生初期における住民の安否確認を円滑迅速に実施できるようにするため、独自に安否確認ボードの作成やICT技術の活用として情報連絡機器システム等を導入するなど、地域における防災体制の確立に向け、住民が安全安心に暮らせる地域づくりを目指して活動を続けており、防災思想の普及に多大な貢献をした。</p>